*****・ フェアコンサルティング オーストラリア





2024年5月

1. 最近の出来事総集編(2024年4月26日~5月17日)

4月26日号: オーストラリアは昨日 ANZAC (= Australia and New Zealand Army Corps) Day でした。今週はオーストラリア国内の航空会社が到着予定時間通りに運行されているかどうか(達成率)の発表が統計局からありました。

航空会社名	Mar-23	Jan-24	Feb-24	Mar-24
Bonza		78%	82%	83%
Hinterland				82%
Jetstar	62%	72%	76%	81%
Qantas	76%	77%	73%	77%
Rex Airlines	71%	77%	72%	76%
Skytrans		65%	74%	69%
Virgin Australia	69%	68%	72%	75%

- 5月3日号:メルボルンのメインのフリンダース駅の前にある Federation Square では5月3日(金)~5月5日(日) BUDDHA'S DAY & MULTICULTURAL FESTIVAL が行われます。実習生への補助金について、連邦政府は、クリーンエネルギーのスキルを学ぶ実習生に対して補助金の支払いを拡大すると発表しました。要件を満たす実習生は、再生可能エネルギー分野で何らかの仕事をした場合、最大AUD10,000 の支払いを受け取ることができます。当該補助金は2024年6月から開始されます。
- 5月10日号: ビクトリアの山は紅葉がかなり進んでいました。 School Saving Bonus について、ビクトリア州政府は公立学校に通う生徒に対して一人当たり AUD400の補助金を出すと発表しました。 背景として生活コストの増加により学校の制服、キャンプ、スポーツ活動やその他学校の課外活動の補助の為です。 交付のタイミングは Term 4で現金ではなく学校の Family Account にクレジットが与えられます。





FCG オーストラリア ニュースレター

- 5月17日号:メルボルンのあるビクトリア州ではいよいよ冬に近づいてます。今週、 2024年/2025年の連邦予算案が発表され、主なポイントは次の通りです。
 - ① 企業:非居住者のキャピタルゲイン税のコンプライアンス強化 (AUD20m以上の譲渡取引について事前にATOへの通知等)
 - ② 企業:引き続き徴税の強化(Tax Avoidance Taskforce)
 - ③ 企業:一括償却資産計上の期間を2025年6月30日まで延長(条件有)
 - ④ 企業:重要鉱物(31種)産業への優遇税制
 - ⑤ 個人:光熱費高騰に対する支援として AUD300 のリベート
 - ⑥ 個人:個人所得税の段階的減税(下図)

現状		予算案		
\$0-\$18,200	0%	\$0-\$18,200	0%	
\$18,201-\$45,000	19%	\$18,201-\$45,000	16%	
\$45,001-\$120,000	32.5%	\$45,001-\$ <mark>135,000</mark>	30%	
\$120,001-\$180,000	37%	\$135,001-\$190,000	37%	
\$180,001 and over	45%	\$190,001 and over	45%	

ジャン・ フェアコンサルティング オーストラリア

FCG オーストラリア ニュースレター FAIR CONSULTING



お問い合わせ先

Fair Consulting Australia Pty Ltd.

Level 31, 120 Collins Street, Melbourne VIC 3000 Australia

Tel: +61 3 9225 5013

Web: https://www.faircongrp.com/



讃岐 修治

オーストラリア国公認会計士

E-Mail: sh.sanuki@faircongrp.com



鳥居 裕司

日本国公認会計士/米国公認会計士

オーストラリア国・ニュージーランド国勅許会計士

E-Mail: hi.torii@faircongrp.com

「FCG オーストラリア ニュースレター」本文の内容の無断での転載、再配信、掲示板の掲載等はお断りいたします。
「FCG オーストラリア ニュースレター」で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。
フェアコンサルティンググループでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、「FCG オーストラリア ニュースレター」で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、フェアコンサルティンググループ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。